

整理番号	30001
評価対象年度	令和4年度
編成区分	当初

事務事業評価(事前)シート

提出日	令和3年11月29日
事業担当課	産業雇用政策課

《基本情報》

事務事業名	商工業振興資金預託金 (創業資金及びエコ資金の拡大)		<input type="checkbox"/> 新規 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大
基本施策	C1 地場事業者の成長を支援します		
2025年度にめざす姿 (なにが、どうなっている)	なにが	どうなっている	
	地場事業者が	売上と利益を伸ばしている。	
個別施策	C1-1 地場事業者の経営力の強化を支援します		
2025年度にめざす姿 (なにが、どうなっている)	なにが	どうなっている	
	地場事業者が	経営資源を磨き、生産性を高めている。	

《事業の目的及び現在の取組み概要等》

現状・問題点	<p>【創業支援】</p> <p>①創業者は事業実績が十分でないため、金融機関からの資金調達においては、保証協会の保証が付く、市の制度融資へのニーズが高い。2,000万円超の資金需要に対しては、新たな資金調達を探るか、他の制度融資を利用する必要があるなど、資金調達が円滑に行える状況であるとは言い難い。(2,000万円の融資実績:令和2年度 1件)</p> <p>②産業競争力強化法の改正により、創業者の定義が改正(拡大)された。しかし現状、創業5年未満であっても、途中で事業主体の変更(個人→法人成)をした場合は創業者とみなされず、制度融資を利用できないため、融資制度の効果を十分に発揮できていない。</p> <p>【環境対策】</p> <p>重点的取組みである「ゼロカーボンシティの実現」のためには、中小企業等においても脱炭素型の経営に転換していく必要がある。しかし、既存施設を始めとした省エネの促進は、事業経費とは異なり、追加的な設備投資であることを勘案すると、事業者の負担が大きく、ゼロカーボンシティの実現を鈍らせる要因である。</p>
目標(誰(何)をどのような状態にしたいのか)	意欲ある創業者が、円滑に、かつ少ない費用負担で資金調達を行い、経営を継続することができる。
課題(どういうことをする必要があるのであるのか)	<p>【創業支援】</p> <p>①高額の資金需要が発生した際でも、ワンストップで資金調達できる環境を整える必要がある。</p> <p>②創業時期は手元資金の確保が難しいことも多いことから、意欲ある創業者が安定して経営を継続できるよう、制度を整える必要がある。</p> <p>【環境対策】</p> <p>環境問題への感度が高い事業者が率先して行動を行えるよう、支援体制を整える必要がある。</p>
上記の問題点に対して現在行っている事業の有無	有・無 ※有の場合は事業概要を添付(委員会資料等)
当該新規・拡大事業を行うにあたり、縮小・統合・廃止する事業	有・無 ※有の場合は事業概要を添付(委員会資料等) 新規・拡大事業を行うためには、今までやってきた取組みを検証し、成果や効果が低い事務事業の終了も含めた「選択と集中」に努めることが不可欠です。

＜事業の概要＞

事業の具体的内容 (対象、事業主体、事業 期間、総事業費、事業 費内訳等記載)	<p>＜事業概要＞ 本市は、創業者への貸付資金の原資の一部を取扱金融機関に預託(無利子預金)し、金融機関が本市と協調して融資をすることで、低金利での資金が中小企業者等に供給される。(本市が損失を被ることはない。)なお、本市は、創業者が借り入れの際に必要な長崎県信用保証協会への保証料を全額補助する。</p> <p>【創業支援】 1 概要 産業競争力強化法に規定する創業者を対象とした融資制度。 2 融資条件 ・融資対象者:産業競争力強化法に定める創業者であって、要件を満たすもの。 ※「<b>個人で創業し法人成りした会社であって、当該会社の創業者が事業を開始した日以降5年未満に該当する者</b>」を追加(拡大) ・融資限度額: <b>1企業当たり2,000万円 → 3,500万円(拡大)</b> ・融資期間: 運転資金7年、設備資金10年 ・融資利率、保証料: 1.4%、保証料は市が全額負担</p> <p>【環境対策】 1 概要 環境問題に積極的に取り組むために要する資金を必要とする中小企業者を対象とした融資制度。 2 融資条件 ・融資対象者 市内で1年以上同一業種を営んでいること等の要件を満たすもの。 ・融資限度額: 1企業当たり2,000万円 ※ただし、<b>環境問題に資するための一定以上の基準を満たす建物環境に整備に要する資金の借入に限っては、1企業当たり6,000万円(拡大)</b>※環境政策課と協議中 ・融資期間: 運転資金7年、設備資金10年 ・融資利率、保証料: 1.4%、保証料は市が全額負担</p> <p>＜事業費＞ ・R3年度予算: 519,200千円(予算残額: 187,690千円) ・R4年度要求: 569,800千円(+50,600千円) ＜財源＞その他</p>						
	業務量の増減	現状のまま					
市民等の参画と協働のまちづくり (取組みに☑をし、その内容を記載)	<input type="checkbox"/> 情報共有 <input type="checkbox"/> 参画 <input type="checkbox"/> 協働						
事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度 <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰り返し <input type="checkbox"/> 期間限定 ( 年度～ 年度 )						
予算額		金額(千円)	国	県	地方債	その他	一般財源
	当年度	50,600				50,600	
	総額						
	財源名称	その他(預託のため、歳出した金額の全てが年度末に歳入として戻る。)					
成果(活動)指標	指標(単位)	①創業資金融資の活用件数[累計] ②市の制度融資の活用件数[累計]※5次総成果指標					
	年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	目標値①	131	177	224	270	316	
	目標値②	24	35	46	57	68	
	成果指標及び目標値の説明	活用件数(融資先)が増加することで、事業者の取組状況を測ることができるため。基準値(R2年度)から、過去5年間(H28～R2年度)の年平均件数(①46件、②11件)を毎年度増加させる。					

## 評価結果

### (1) 今後の事業の方向性と理由

<input checked="" type="checkbox"/> 採択	<input checked="" type="checkbox"/> 所管案のとおり	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善	<input type="checkbox"/> 事業規模拡大	<input type="checkbox"/> 事業規模縮小
	<input type="checkbox"/> 事業統廃合	<input type="checkbox"/> その他		
<input type="checkbox"/> 不採択	<input type="checkbox"/> 企画不十分			
<input type="checkbox"/> 一部不採択	<input type="checkbox"/> 企画不十分			

### (2) 評価会議における指摘事項

長崎市中小企業創業資金において、創業者の円滑な資金調達や積極的な設備投資を促すため、融資上限額の引き上げ及び対象者の拡大を行うものである。

また、長崎市エコ資金において、ゼロカーボンシティの実現に向けて省エネ設備の導入を促すため、融資上限額を引き上げるものであり、いずれも意欲ある中小企業等の経営力の強化につながることから、事業の実施は適当である。